

和歌山県白浜町の定点における 2014 年の オカヤドカリ類（甲殻類，異尾類）の出現—新参と古参の比較

久保田 信*

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

Appearance of terrestrial hermit crab (Crustacea, Anomura) at a fixed point in Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan in 2014-comparison of newcomer and old one

Shin Kubota*

* Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center,
Kyoto University, 459 Shirahama Town, Nishimuro, Wakayama, 649-2211 Japan

Abstract. In the period between May 18 and September 5 in 2014 (actually 81 days), appearance of terrestrial hermit crabs was observed at a fixed point in Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan. Newcomers are gradually decreased month after month in this period and most of the individuals appeared there could be marked (accumulatively 349 individuals).

Key words: appearance, marking, Shirahama, terrestrial hermit crab

（要約）

2014 年 5 月 18 日から 9 月 5 日の期間中の 81 日間、計 201 回の調査により、累積すると 349 個体のオカヤドカリ類をカウントし、赤色ペイントを塗布できた。当該定点への新参個体は月が進むごとに出現が減少し、9 月には見られなくなったので、調査期間内にはほぼ全個体に印がつけられたとみなせる。

はじめに

熱帯系のオカヤドカリ類は、日本での自然分布の北限の和歌山県白浜町で、通常 5 – 9 月にかけて出現する（久保田，2011a, b, 2012a, b, c, 2013, 2014）。白浜町の定点で、オカヤドカリ類の 2014 年度の出現状況を、新参と古参に分けてマークをつけながらほぼ毎日調査し、その結果を報告する。

材料と方法

2014 年 5 月 18 日から 9 月 5 日の期間中のできるだけ毎日、計 81 日間、和歌山県白浜町番所崎の根元に位置する定点、即ち、不動明王付近（洞の中とその周辺部で約 100m²）で、オカヤドカリ類の出現個体数をカウントした。毎夜、最低 1 回（最多は 12 回で、できるだけ複数回）、期間中計 201 回、LED ライトを照らし、出現

*連絡先 (Corresponding author): kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp

数を数えた。貝殻に既に出現した証拠の色を付けておらず新参個体であったら、初出現時に赤ペイントを塗布した。2013 年以前に既に色々な色で印をつけている個体は別に数え、これらの初出現時にも 2014 年出現の印として赤色ペイントを塗布した。なお、オカヤドカリ類は国指定の天然記念物なので、この調査には県と町の許可（指令文第 120 の (3)）を得て行なった。

結果と考察

当該定点で 2014 年 5 月中旬から 9 月初旬の 81 日間、計 201 回の調査により累積して 349 個体のオカヤドカリ類に赤色を塗布できた（表 1）。5 月中旬から多数の個体が出現し（久保田、2014）、月平均で 5 月は 1 日当たり 8.7 個体であった。6 月から 9 月へと時の経過とともに、月ごとの平均値はそれぞれ 3.8, 3.7, 4.3 個体/日と半減し、9 月には 2.0 個体/日となった。貝殻に色の塗布がなく、今回新たに出現した個体（既存個体が新しい殻をどこかで入手した可能性もあり）は、5 月には平均で 2.7 個体/日の出現で、その後は 6－8 月にそれぞれ 0.5, 0.5, 0.3 個体/日とだんだん少なくなり、9 月には 0 個体/日となった。

一方、定点に最初に出現した日に赤色を塗布され、その後も定点に繰り返し出現した個体が 1 日当たり最多だったのは 5 月の出始め時で

（5.0 個体/日）、その後の 6－8 月の月平均はそれぞれ 2.7, 2.9, 3.4 個体/日と少なくなり、9 月には 2.0 個体/日とさらに減少した（表 1）。

他方、以前の数年間に塗布された、即ち、古い印が貝殻に見られた個体は、9 月には見られなくなったが、5－8 月は毎月出現した。しかし、いずれの月も少数で、5 月に平均 1.0 個体/日、6－8 月はそれぞれ 0.7, 0.4, 0.5 個体/日であった。

以上の観察から、この定点では 5－9 月に頻繁にオカヤドカリ類がほぼ毎夜に出現するも、月の経過とともに新参・古参個体の出現数は減少してゆくといえる。新参個体数を 2014 年出現個体数と古参個体数をあわせた数で割った値は、5 月から 9 月へと時が経過するにつれて、月平均で 0.44, 0.14, 0.14, 0.09, 0 となり、だんだんとその率が下がっていった。これは定点への新参個体の月ごとの出現がどんどん減少し、終には調査期間内にはほぼ全個体に印がつけられたとみなせるかもしれない。これは表 1 の新参数の月変化をみてもうなづける。今回の報告をもとに、今後は個体マークをつけて出現状況を調べる必要があるだろう。

引用文献

久保田 信. 2011a. ムラサキオカヤドカリ（甲殻類、異尾類）の海岸での本州初の幼生の放

表 1. 和歌山県白浜町の定点（不動明王付近）でのオカヤドカリ類の 2014 年の出現。

Table 1. Appearance of terrestrial hermit crab at a fixed point (around the God of Fire), Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan in 2014.

調査期間	調査日数	調査回数	累積出現個体数/月 (平均個体数/日)	新参数*/月 (平均個体数/日)	2014 年の赤印塗布済数**/月; 古参数*** (平均個体数/日)
5 月 18 - 30 日	9	65	78 (8.7)	24 (2.7)	45 (5.0); 9 (1.0)
6 月 1 - 30 日	25	76	96 (3.8)	12 (0.5)	67 (2.7); 17 (0.7)
7 月 1 - 31 日	31	39	116 (3.7)	14 (0.5)	91 (2.9); 11 (0.4)
8 月 14 - 29 日	12	16	51 (4.3)	4 (0.3)	41 (3.4); 6 (0.5)
9 月 1 - 5 日	4	5	8 (2.0)	0	8 (2.0); 0
5 月 18 - 9 月 5 日	81	201	349	54	252; 43

*: 調査日に貝殻に色印なし individuals without color mark(s).

** : 調査日に貝殻に赤色印あり individuals with red color mark.

*** : 調査日に貝殻に赤色以外の色印あり individuals with color mark(s) other than red.

- 出の確認. 日本生物地理学会会報, **66**: 253-256.
- 久保田 信. 2011b. オカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の幼体を京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”で2011年秋季に再発見. 瀬戸臨海実験所年報, **24**: 49-50.
- 久保田 信. 2012a. ムラサキオカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の越冬個体を京都大学瀬戸臨海実験所“南浜”で2012年春に再発見. 瀬戸臨海実験所年報, **25**: 36-38.
- 久保田 信. 2012b. オカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の和歌山県白浜町番所山付近への出現. 日本生物地理学会会報, **67**: 209-213.
- 久保田 信. 2012c. オカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の和歌山県白浜町における初秋季の出現時刻. 日本生物地理学会会報, **67**: 215-217.
- 久保田 信. 2013. ムラサキオカヤドカリ(甲殻類, 異尾類)の和歌山県白浜町海岸での幼生放出記録. 日本生物地理学会会報, **68**: 121-123.
- 久保田 信. 2014. オカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の和歌山県白浜町における春季の出現時刻. 日本生物地理学会会報, **69**: 225-227.
- (2015年8月26日 受領, 2015年10月16日 受理)